

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月30日		記入者		連絡先	113
平成18年度部名	経済部		課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川 亮司
平成19年度部名	経済部		課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川 亮司
事務事業名	農業用施設修繕事業					
予算上の事務事業名	農道等維持補修費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	31530		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします					
基本施策名	第5節 都市農業の振興					
施策名	第3施策 農地の保全と農業基盤の整備					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
3 個別計画の概要						
計画名	概要					
計画年次	年度～	年度				
4 事業形態の区分	維持・管理・補修		5 事業開始年度	平成18年度		
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
相模湖町内における農道等の機能維持のため、舗装補修や道路側溝などの修繕を行うもの。				相模湖町内の農道 48路線 延長13,504 m		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
・農道修繕委託(農道寸沢嵐29号) 42,000円〔砂利敷道路に砂利撒き80㎡〕						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	42	200	200	
一般財源	0	0	42	200	200	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	27	128	128	
事業コスト合計	0	0	69	328	328	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	1㎡当たりの舗装及び砂利敷き経費			対象名称 と単位	委託料(円)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	42	200	200	
対象数	0	0	80	400	400	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	525	500	500	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.95	1.00	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	舗装及び砂利撒き面積（㎡）	指標式と指標の説明	農道の舗装及び砂利撒きの面積（㎡）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	80.0		
目標	0.0	0.0	80.0	400.0	400.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	舗装及び砂利撒き面積（㎡）	指標式と指標の説明	農道の舗装及び砂利撒きの面積（㎡）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	80.0		
目標	0.0	0.0	80.0	400.0	400.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		耕作車両の通行のため、また地域の通路として機能を確保することが必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
			相模湖町内には農道等が多数あるが、実態として農道ではなく家屋が連坦した生活道路となっている農道も少なくない。農道等は根拠法等がなく行政財産として課題があることから、将来的には、道路部局で用件の合致するものについては道路として管理するなど所轄の見直しが必要である。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			